

主に関連するDP			項目	内容	基準			
大学全体	学部	学科			1	2	3	4
*	*	*	人間および心身相関の科学的・総合的理解	人間と社会の諸側面について幅広い知識を持ち、健康が心理的・社会的・文化的側面と密接に関わることを理解している。	<input type="checkbox"/> 「心身相関」を基本にし、人間に関する科学を学際的に学び、総合的に人間を理解することの重要性を理解している。自身の体験をもとに、日常生活における心身相関の例をあげることができる。	<input type="checkbox"/> 一人一人がストレス社会を力強く生きていくことに関連する、「心身相関」の仕組み、および、他者や環境との関係性を理解している。	<input type="checkbox"/> 生命進化及び人類進化についての知識を学び、生物としてのヒトの心身の健康を進化的観点から考えることができる。	<input type="checkbox"/> 人間の歴史を「文化・社会」の視点を通して学び、健康と社会的環境との関連を理解している。
*			knowledge for well-being の理解と実践	現実社会を「よりよく生きる」ために、洞察力、共感性、創造力、表現力、自己教育力、生涯学ぼうとする意欲、豊かな人間性が必要であることを理解し、実践している。	<input type="checkbox"/> 発達・ライフサイクルに伴う心身の特徴を学び、各時期の特徴を活かして生涯学び、「よりよく生きる」知恵について考える必要性を理解している。	<input type="checkbox"/> 人間に備わる共感能力について、その発達も併せて、科学的に理解できることを知り、「よりよく生きる」こととの関連を理解している。	<input type="checkbox"/> 進化的視点を含む新しいストレスの考え方を学び、現代社会に生きる人間について総合的に洞察する努力を実践している。	<input type="checkbox"/> 人間らしさを育んできた「文化・社会」の統合理解に必要な基本的知識を学び、未来を切り開く創造力を高めるために活用する努力を実践している。健康や生き易さについて、コミュニティとの関連を理解する。
*	*		自立と共生の理解と実践	社会における「自立」と他者との「共生」には、社会的責任感、異文化理解、情報処理力、自己実現力、他者への思いやり、コミュニケーション力などの資質が必要であることを理解し、実践している。	<input type="checkbox"/> 「心身相関」を基本にし人間を総合的に理解する学びをもとに、健康問題について自分の頭で考えることが、社会における「自立」に必要なことを理解している。	<input type="checkbox"/> 他者との「共生」に必要な、他者への思いやり、コミュニケーション力の基盤の一つに、乳幼児が周囲のおとなとの相互作用により共感システムを発達させることがあることを理解している。	<input type="checkbox"/> 人類進化の過程における個人と社会の関りについての学びをもとに、社会における共生に必要な社会的責任感について自ら考えることを実践している。	<input type="checkbox"/> 「文化・社会」の統合理解をめざした学びをもとに、異文化への理解を深めること、自らの可能性を最大限に発揮するための努力を実践している。
*	*		プロフェッショナルリズムの理解	専門職の責務を自覚し、強い責任感と倫理観を持って自身が持つ専門的知識と技術をもって、社会に貢献し、人々の幸福と健康に貢献する決意を持っている。	<input type="checkbox"/> プロフェッショナルリズムの基盤となる知識を修得している。	<input type="checkbox"/> プロフェッショナルリズムを持った所属学科・専攻分野の専門職の役割を明確に表現することができる。	<input type="checkbox"/> 所属学科・専攻分野のプロフェッショナルに求められる知識と技術の重要性を理解している。加えてその習得に努めている。	<input type="checkbox"/> 社会において、自身が目指す専門職種と関連する他職種、他領域との関係を踏まえ、プロフェッショナルとして人々の幸福と健康に向けた実践をすることができる。
*			社会人リテラシーの修得	社会貢献に必要な、問題解決能力、チームワーク力、リーダーシップ能力、プレゼンテーション能力、AI・データサイエンス（リテラシーレベル）の基礎力。	<input type="checkbox"/> 社会人リテラシーとは何かを知り、構成する各能力について理解している。	<input type="checkbox"/> 社会人リテラシーを構成する各能力を修得に向け学んでいる。	<input type="checkbox"/> 社会人リテラシーを構成する各能力を自らの専門フィールドでの学びに活用を試みている。	<input type="checkbox"/> 社会人リテラシーを修得し、自身が目指す専門フィールドでの学びに活用している。
	*		キャリア形成に向けた計画と実践	自身が目指すキャリアを明確化し、その形成にむけて、いつ何を行い、知識や技術、態度を修得しなければならないかを理解し、計画的に実行しているか。	<input type="checkbox"/> キャリア形成のついて概略を説明できる。	<input type="checkbox"/> 自身が目指す専門職キャリア形成に必要な要素を明確に表現することができる。	<input type="checkbox"/> 自身が目指す専門職キャリア形成に向けての知識や技術、態度を修得している。	<input type="checkbox"/> 卒業後に従事する自らの専門職を意識し、キャリアの実現に向けての実践ができる。
		*	対象者への多面的な理解	「理学療法」を必要とする対象者について、身体的・心理的・社会的・文化的側面から多面的・総合的に理解できる知識を修得している。	<input type="checkbox"/> 「人間」を心理的・身体的・社会的・文化的側面から多面的・総合的に捉え、理解できている。	<input type="checkbox"/> 「理学療法」を必要とする対象者について、身体的・心理的側面から捉え、理解できている。	<input type="checkbox"/> 「理学療法」を必要とする対象者を、身体的、心理的側面だけでなく、社会的側面およびQOLの観点から捉え、理解できている。	
		*	専門性の獲得と汎用性の向上	「理学療法」の基本的な専門知識と技能を身に付け、さらに保健・医療・福祉・介護・研究・教育などの分野においてその知識と技能を汎用することができる。	<input type="checkbox"/> 理学療法の専門的能力に必要な基本的な専門用語、定義、理論が説明できる。 <input type="checkbox"/> 理学療法の専門的能力に必要な基本的な専門技術が身につけている。	<input type="checkbox"/> 理学療法の基本的な専門知識と専門技術が身につくことで、理学療法の対象者に基本的な理学療法評価が実施できる。	<input type="checkbox"/> 理学療法の基本的な専門知識と専門技術が身につくことで、理学療法の対象者に基本的な理学療法（評価と治療）が実施できる。	<input type="checkbox"/> 将来を見据え、理学療法が必要な様々な対象者に対して、理学療法（評価および治療）における実践の汎用性を高めることができる。
		*	高い倫理感に基づく多職種との協働・連携する能力の実践	医療従事者としての高い倫理観を持ち、他の専門職と連携・協働することを理解し実践できる。	<input type="checkbox"/> 生命倫理および医の倫理について説明できる。	<input type="checkbox"/> 理学療法士の役割と責任について説明できる。 <input type="checkbox"/> 理学療法士に求められる職業倫理について説明できる。 <input type="checkbox"/> 保健・医療・福祉にかかわる各専門職の役割と責任、業務について説明できる。	<input type="checkbox"/> 理学療法を必要とする対象者に、理学療法士の役割を理解し、責任をもって接することができる。	<input type="checkbox"/> 理学療法を必要とする対象者に、他職種との協働や連携することの意義や役割を理解し、実践することができる。
		*	自ら学び続ける素養の修得	理学療法の質の向上に必要なグローバルな視点を持ち多様な健康課題に対応するため、生涯にわたり自ら学び続ける素養を身に付ける。	<input type="checkbox"/> キャリア形成における大学生生活の意義・目的が理解できている。 <input type="checkbox"/> 大学生としての学びの姿勢と方法を身につけている。	<input type="checkbox"/> 理学療法の対象者に基本的な理学療法評価を実施するための主体的な学びを実践できている。	<input type="checkbox"/> 理学療法の対象者に基本的な理学療法を実施するための主体的な学びを実践できている。	<input type="checkbox"/> グローバルな観点から理学療法士を捉えることができている。 <input type="checkbox"/> 理学療法士免許取得後の方向性を含め、様々な理学療法分野への職業キャリアを具体的に描くことができている。